

寄生虫性肝炎



～食肉検査で「寄生虫性肝炎」がみられたら～
肝臓は**廃棄**になります（右の写真）。

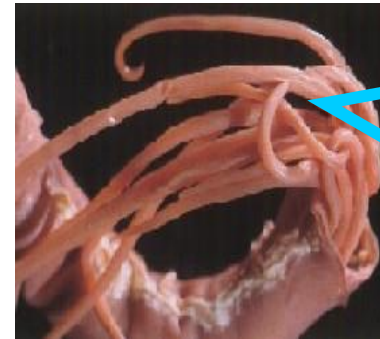
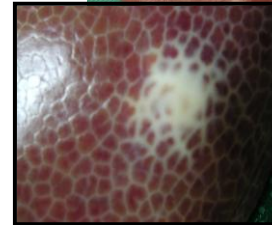
原因 寄生虫性肝炎は**豚回虫**が原因であることが多く、豚の糞の中に排泄された回虫の卵を別の豚が食べると小腸で孵化し、幼若虫となって、肝臓に病変を作ります。

予防・対策

- 1 環境管理
 - 虫卵に汚染された糞便の除去
（豚舎の清掃；特に餌槽、水槽の清掃）
 - 虫卵の除去
（豚舎の消毒；スチムクリナー。石灰塗布）
- 2 飼養管理
 - 繁殖豚；分娩1週間前に駆虫。分娩房の消毒。
乳房周囲の虫卵を洗い落とす。
 - 肥育豚；離乳後1週時と3ヶ月齢時の2回駆虫。



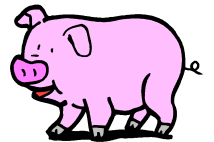
拡大図



寄生虫に感染した豚の小腸です。小腸に**豚回虫**がつまっています。豚は下痢や便秘になって、飼料効率が悪くなります。

当所における寄生虫性肝炎による肝臓の廃棄率（豚）

	H27	H28
検査頭数（頭）	187,896	180,933
廃棄頭数（頭）	2,662	2,799
廃棄率（％）	1.4	1.5



リーフレットの内容に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。
北海道東藻琴食肉衛生検査所 TEL 0152-66-2001 FAX 0152-66-3576
HP <http://www.okhotsk.pref.hokkaido.lg.jp/ds/hse>